

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム小野の里

作成日 令和4年4月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に掲げた「寄り添う」事が出来ているか。	ご利用者お一人お一人に「寄り添う」事が出来るよう努める。	ご利用者お一人お一人の声に耳を傾け、言葉にできない方でも表情から思いをくみ取れるよう努める。	通年
2	2	コロナ禍の中、地域との交流も自粛せざるを得ない状況ではあるものの地域の一員としてできることがないか検証する必要がある。	地域の一員として発信するだけではなく、地域の困り事を地域の方と一緒に取組んでいく。	玉江地区社会福祉協議会や玉江校区コミュニティ協議会の場で地域の現状や問題点を共有し、一緒になって問題解決に取り組んでいく。	1年
3	4	コロナ禍の中、外部の方の参加を自粛いただいているため運営推進会議がスタッフとご利用者のみとなってイベント中心になっている。	運営推進会議の意義を再確認する。	コロナ禍の現状で、外部の方の参加は難しいが、ホームでの状況や問題点を積極的に発信しご家族や地域の方にもご意見を伺えるような会議にしていく。	1年
4	13	研修での内容が実際のケアに活かされるようにしたい。	研修で学んだことを日々のケアに活かしていく。	内部研修だけではなく外部研修にも積極的に参加し、ホームでのケアに活かしていく。	1年
5	34	急変や事故の際に救急隊や医師への説明に個人の能力の差が出ている。	救急隊や医師への説明がどのスタッフでも出来るようになる。	救急隊や医師への情報提供書類を見直し、急な対応にもすぐに答えられるようにする。	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。